

こんにちは、 日本共産党井上けんじです

日本共産党南地区委員会 ☎ 353-6311 自宅 ☎ (F兼) 691-3323 (携帯) 090-7880-9442
 日本共産党京都市議員団 ☎ 222-3728 FAX 211-2130
 市議員団ホームページ <http://cpgkyoto.jp/> E-mail info@cpgkyoto.jp 2022年4月17日



梶川さん、最後まで政策訴え、大健闘 現職「どちらとも言えない」!? ばかり

10日投票の京都府知事選挙では、日本共産党も推薦した「かじかわ憲」さんが、残念ながら当選に至らず現職が再選。

かじかわさんは、北陸新幹線京都延伸ストップ、保健所の各地域への復活とコロナ対策の充実、中学校給食実現、老人医療の負担軽減、子どもの医療費助成の対象拡大、働く人々への最低賃金底上げと中小零細企業・事業者への支援、等々、京都市政と京都市民にとっても、切実な諸課題を政策として掲げられました。

一方現職候補は、京都新聞の「保健所を増やすべきか」等のアンケートに、ことごとく「どちらとも言えない」。現職としても候補者としても資格が問われるような有様でした。

写真は、3月21日、九条大宮にて。

	かじかわ憲	西脇隆俊
南区	9,494	14,845
京都市	154,459	239,713
京都府	251,261	505,651



左は現庁舎。古い訳ではない。跡地は5年程駐車場、その後は未定。開発狙いか。右が新庁舎。

民間保育園補助金削減を撤回し

① 公私間格差是正 (市立保育園職員の高賃水準へ) と

② 横断的な給与体系の確立 (どの園でも同じ条件で) を

3月18日の市議会教育福祉委員会で、井上けんじ議員は、①ヘルスピア廃止反対、②ギガ教育一辺倒でなく、じっくり深く落ち着いてものを考える、「個別」ではなく「対話的」、生徒間討議等々、教育の方法や在り方、等々について質問しました。また③民間保育園への、市の補助金は削るなど追及しました。

●井上議員「民間保育園への補助金を削るな。現場から、「モデル賃金表がなくなるのか」と心配されている。○市答弁「補助金減らしてもやって頂ける。各園でやって頂く。●市は各園をばらばらにしようとしている。」

(25日に削減が可決されましたが)。③のポイントを紹介します。

※ ※

「山王」の名で親しまれた水道局本庁が移転

京都駅八条口アバンティ東側の京都市水道局本庁舎が、十条油小路東入西洞院通り下る附近に移転します。

新庁舎は、民間資金活用事業とやらで、一定期間、所有も管理も

が民間園に頼ってきた。市立園との給与格差を縮める①公私間格差是正と、②民間とはいえ、どの園でも同じ条件で、この二本柱と、その為の補助金が必要だ。○市は補助金出すだけ。●その減額が許せない。理念も目標もない。

大津組。庁舎の一部はテナントで、任天堂が借り、賃料は大津組へ。その任天堂には市が「企業立地補助金」を援助。庁舎移転は、元々、京都駅東南部開発計画にはなく、突然、決ま



舗装の改修が実現 (東和学区)



りました。老朽化という訳ではありません。なのに、跡地は暫定、駐車場で、その後は未定、とのちぐはぐ。開発したいが策はなし!?